



805号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
 日港福会館 5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール rouren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国検数労働組合連合
 書記局



第12回 検数労連25春闘交渉 10:00~10:30

日検協会関係の25春闘について、当該各地域からの意見を集約した結果、すべての地域から中間見解に対する批准・一任を受け、妥結を表明。

25春闘賃上げ回答（日検協会最終回答）

2025年3月31日以前に採用した職員の賃金引上げに関し、次の通り回答する。

1. 本給

- (1) 定期昇給 一律 3,000円とする。
- (2) 定率昇給 一律 2.8%とする。
2025年3月31日時点の本給に定率を乗じた額とし、10円未満が生じた場合はこれを切り上げる。
- (3) 年齢調整給 19才 1,000円とする。
なお、年齢は2025年4月1日現在の満年齢とする。

2. 時間外算定基礎分母

現行150時間を149時間とする。

3. 2025年度初任給

164,000円とする。（高卒18才）

4. 実施時期

協定時に在籍している者を対象者とし、2025年4月1日より実施する。

【態度表明】

6月4日（水）に開催した第11回検数労連25春闘交渉で、組合は日検協会に対し「機関手続き」に入る旨を表明。その後6月7日（土）正午までに日検協会関係労組各地域に対し、25春闘全般に対する意見を集約した結果、すべての地域から批准・一任を受け、6月9日（月）第12回検数労連25春闘交渉で妥結を表明しました。

この現到達をもって『妥結』を表明する。
 検数春闘は、2月13日の第1回交渉で要求提出以降、今日まで12回の交渉を重ねてきた。この間、両協会に対して『25春闘は生活防衛闘争であること』『労働環境整備に資する料金収受の強化を図ること』『労働力定着及び確保に努めること』などを主張してきた。特に従業員の賃金に責任を持ち、将来にわたり安心して働くことができる環境作り、そして何よりも諸物価高騰から生活を守るためにも全世代にわたる賃金の引き上げ、底上げを強く求めてきた。引き続き、この部分は労使が取り組むべき重要課題になる。

日検協会の春闘回答全般に

については、全国から様々な不満、不信、疑念、落胆、失望、絶望等の声が多く寄せられた。評価点では、定期昇給の一律化や時間外基礎分母の149時間への到達、初任本給の増額。不満点では一部世代の昨年比減、物価上昇に追い付いていない賃上げ額、人員不足解消に繋がらない回答額、有額回答指定日の未提示、両協会の交渉の足並みが揃い、誠意のない諸要求回答への意見が出された。春闘全体では、諸物価高騰から生活を守る賃上げ額には程遠い結果となった。

今後、『事業基盤・生活基盤』の安定に向けた取り組みを第一義として、産別継続課題の履行、人員採用対策、65才定年制などの課題の前進に向けた企業内での労使協議の実施を求める。特に65才定年制の実施協議に向けては、春闘回答で要求趣旨を完全に逸脱する不誠実かつ不信感を抱かざるを得ないとする意見が多く寄せられており、春闘終了後、速やかに労使協議に入るよう強く求める。また、労働環境整備に向けた料金収受については、労使共通課題と位置付け、積極的に取り組みをすすめるよう求める。

《25夏季一時金スタート》
 検数労連25春闘全般に対する闘争が終了したばかりではあります。同日に検数労連25夏季一時金交渉を開始します。

夏季一時金要求全般の確認

日検協会の新賃金の差額支給については、6月分の給与にて支給することを確認しました。



については、5月28日・29日に開催した第3回検数労連代表者での活発な議論を経て、『生活防衛』『従業員の手帳ペーシオン維持』『離職者阻止』の観点から従来通りの一時金算式で要求し、たかかっていく事を確認しました。

引き続き6月9日（月）13:30~第1回検数労連25夏季一時金交渉
 25夏季一時金要求書提出を行っていきます。